

あびこ型「地産地消」推進協議会

会報 第29号

2012年 7月 15日 発

*** 目次 ***

1. 会長挨拶
2. 第9回定期総会について
3. 協議会新役員
4. 「学校給食」の講演会とパネルディスカッション
5. 「あびこ農産物直売所」5周年記念イベント
6. 今後の行事予定
7. 新役員・コーディネータの紹介
8. 部会紹介
9. 編集後記



発行：あびこ型「地産地消」推進協議会 会長 米澤 外喜夫
住所：270-1155 我孫子市我孫子新田 22-4
Tel. 04-7128-7770 Fax 04-7128-7771
E-mail abikochisanchisyokyo@sky.plala.or.jp
URL <http://www15.plala.or.jp/chisan/>

1. 会長挨拶

米澤 外喜夫

去る5月19日に開催されました当協議会の第9回総会で、会長に再任していただきました米澤外喜夫です。会長として2年目になりますが、新年度におきましても会員・役員の皆様と共に協議会の更なる発展を目指して精一杯力を尽くしたいと思います。当協議会は設立からおよそ10年の歳月が経過し、会員数も200人を超え規模にまでなりましたが、その間、多くの先人先達のご努力によって、「地産地消」の旗印の下、当市の農家有志の皆さんによるエコ農業の普及推進と、これを市民有志が農作業面で支援する援農ボランティア活動の展開、そして種々の機会を利用して地元産エコ農産物の販売促進を支援し、また子供達に農業の実際に触れてもらう食育交流イベントや、学校給食で地場の食材農産物を活用していただくための支援活動や広報活動など、幅広く実績を挙げてきております。

さて、ちょうど1年前に私は「地産」を均衡するような「地消」の充実について申し述べましたが、その延長として今、消費者・市民の皆さんと農家の皆さんとの「距離」をさらに一層縮める努力が必要ではないかと考えます。その意味で当協議会として新年度には、上記の既存各事業を拡充することはもちろん、例えば新たに、市内農家が設置している数十カ所の「農産物直売所」のマップ（地図）作りに取り組む予定です。これを協議会のホームページに掲載するなどして、消費者・市民の皆様、生産農家一人一人の素顔や提供されている商品の詳細な内容など様々なニュースをより簡単に入手して頂けるようになるのではないかと期待しております。

前年度に引き続き今年度もまた、会員各位のご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

平成24年6月



2. 第9回定期総会について

我孫子型「地産地消」推進協議会の第9回定期総会が、5月19日（土）にエスパ3階にある「あびこ市民プラザ」で開催されました。米澤会長とご来賓のご挨拶の後、会長が議長席に就いて議事が進められました。

I部 講演とパネルディスカッション 午後1時～2時40分 後記

II部 総会 午後3時～4時

①総会の成立

- ・会員数175名（2012年3月末現在）のうち当日の出席者は46名、委任状の提出が80名で「協議会」会則第13条にいう総会の成立要件の充足を確認。

②議案

- ・以下の議案説明が一括して行われました。

第1号議案 平成23年度活動報告について

第2号議案 平成23年度収支決算報告について
並びに会計監査報告

第3号議案 平成24年度活動計画案について

第4号議案 平成24年度収支予算案について

第5号議案 新役員の選出について

③質疑応答

上記議案に関する質疑に入り、「エコ農産物」普及推進の方策、予算・決算費目の詳細内容、学校給食支援活動の展開、各種事業活動の広報改善などについて、会員と役員との間で説明や意見交換が熱心に行われました。そして、第1号及び第2号議案、第3号及び第4号議案、第5号議案とに分けて行われた採決においては、何れも拍手多数で可決・承認され、最後に、新役員を代表して米澤会長が新年度に向けて決意の挨拶を述べ、予定の議事をすべて滞りなく終了し、閉会しました。

Ⅲ部 会員懇談会

午後4時30分～6時

①意見交換

市民プラザ内の別室にて約40名の方が参加し各テーブル毎に意見交換が行われた。

②試食（地元農産物を使った料理）

市内地元農産物を材料としたあびこん加工部会の料理とトマトスープごはんがテーブル一杯に並べられ盛会のうちに終了した。

3. 協議会新役員

役職名	氏名
会長	米澤 外喜夫
副会長	中野 栄
副会長	三宅 輝夫
副会長	徳本 博文
総務担当	増田 浩四郎
総務担当	岩田 公夫
会計	飯泉 章
エコ農産物普及推進部会	鈴木 順一
販路拡大・食育交流部会	米澤 外喜夫（新任）
援農ボランティア部会	宮本 豊
学校給食支援部会	須藤 一宏
広報部会	天谷 幸生
総務部会	白澤 幸雄（新任）
会計幹事	飯田 寿昭
	新保 美恵子（新任）

4. 「学校給食」の講演とパネルディスカッション

第9回定期総会に先んじ「Ⅰ部」として始めに星野市長の挨拶と「食べてにっこりふるさと給食、大和芋給食～千葉・佐倉市～」(NHKBSプレミアム2012年2月22日放送)を放映し、話の舞台である佐倉市和田小学校の岩田校長先生から食育の取組みについて紹介がありました。続いて我孫子市・佐倉市の栄養教諭による学校給食の取組みに関する発表、両市の学校給食関係者と生産者の方々によるパネルディスカッション、最後に一般参加者を交えた意見交換が行われました。

1. NHKビデオ放映（佐倉市和田小学校の例）

テーマ 「食べてにっこりふるさと給食」

解説 岩田 和田小学校長

2. 報告「我孫子市の学校給食の取り組みについて」

報告者：我孫子市教育委員会・川崎弘子氏

3. パネルディスカッション

パネラー（敬称略）

我孫子市	野口 和子（湖北中学校・栄養教諭）
	鈴木 一代（我孫子第一小学校・栄養教諭）
	鈴木 順一（エコ農産物普及推進部会長）
	須藤 一宏（学校給食支援部会長）
佐倉市	高橋 郁代（和田小学校・栄養教諭）
	斎藤 忠雄（和田産直組合長）
司会	陸川 良子（我孫子在住・主婦）



和田小学校では、子ども達が学校で大和芋等を育て、農家の方から野菜の育て方や病気について直接教わる、という取り組みをしています。農家の方が育てた作物の大きさや重さに子ども達が驚き、「農家の人ってすごいなあ」と感動する姿がとても印象的でした。また学校給食用の野菜の下準備を子ども達が手伝う場面もあります、さらに学校から配布される給食の献立表にも配膳図や、野菜に関する豆知識、人気の献立のレシピなどを載せて、子ども達が“食”や“農業”に親しみを持てるよう様々な工夫が凝らされていました。

このような食育の取り組みを支えるのが、学校と地元生産組合・農家の連携によって作られる「野菜リスト」です。各農家から野菜の出荷時期に関する情報を集めてリスト化する事で、どの月に何の野菜を何キロ用意でき



左から斎藤さん（佐倉市和田産直組合長）
高橋さん（佐倉市和田小・栄養教諭）

るのか一目で分かるようになり、給食に必要な野菜の種類や量と、農家から出荷できる種類や量のマッチングがしやすくなります。なお、給食野菜の一番の課題である「野菜の安定供給をいかに維持するか」ということについて、佐倉市和田産直組合の方は「野菜の生育状況によっては、やむを得ず納品をキャンセルする時や、過熟、形やサイズの不揃い、虫食い等もあるが、総重量は厳守して適正価格で買ってもらっている」と話していました。一方、地元産の野菜を給食に使う事により、旬の野菜は栄養価が高くて美味しく、しかも安いという事を子ども達に伝える事もできます。我孫子市の栄養教諭の方々の話では、給食用野菜の生産農家の方から学校に寄せられたメッセージを、給食の時間に校内放送で読むという取り組みも行っているそうです。ちなみに昨年の「あびこ当地ぐるめコンテスト」優勝メニュー「トマトスープご飯」も既に給食に登場し、子ども達からは「生のトマトは嫌いだけどトマトスープご飯は美味しい」とか「もう一回出してほしい」と好評だそうです。



司会者 陸川さん



左から須藤さん（学校給食支援部会長）、鈴木（順）さん（エコ農産物普及推進部会長）
野口さん（湖北中・栄養教諭）、鈴木さん（我孫子第一小・栄養教諭）

・パネルディスカッションに参加しての感想

このように「農家の方の顔が見える」機会が増える事は、食育だけでなく、農家の方にとっても大きな応援となるはずです。佐倉市は多品目少量の野菜の生産地で、沼に近く（佐倉には印旛沼、我孫子には手賀沼があります）昔から農家の女性が野菜を担いで上野まで行商に行っていた歴史的背景等、我孫子との共通点も多くあります。今後も地産地消や食育の取り組みについて、地域の枠を超えて広く学んでいくことが大切だと思いました。

（広報部 川田）

新鮮でおいしい地元の野菜をもっと食べましょう！！

5. 「あびこ農産物直売所」5周年記念イベント

日時：6月9日（土）・10日（日） 午前10時～午後3時

2日間とも多数の方々が来場し、下記の催しを楽しみました。

- ・あなたがにぎるおにぎりコンテスト
- ・プチ田んぼでの田植え体験、牛の乳しぼり体験、地元農産物を使った手作り加工品の販売
- ・我孫子産完熟トマト使用トマトジュースやトマトバーガーなどの販売



6. 今後の行事予定

今後の行事予定は以下の通りです。詳細は事務局より別途案内があります。また、スタッフ等の応援要請もありますので宜しくお願い致します。

期 日	内 容	会 場	主催担当部会
7月21日（土）	「採って食べよう新鮮野菜」（枝豆・とうもろこし）	中里 増田農園	販路拡大・食育交流
7月28日（土）	「つくしの夏祭り」での新鮮野菜販売	つくし野公園	販路拡大・食育交流
7月28日（土）	援農ボランティア情報交換会・懇親会	近隣センターこもれび	援農ボランティア
8月11日（日）	「天王台 夏祭り」新鮮野菜販売		販路拡大・食育交流
8月25日（土）	「かっぱ祭り」新鮮野菜の販売		販路拡大・食育交流
9月 1日（土）	援農ボランティア養成講座開講（～10/20）	市役所 各農園	援農ボランティア
10月11日（日）	「料理教室」	湖北地区公民館	販路拡大・食育交流
11月 3日（土）	「収穫祭」（芋煮会）	布施芸術の森	販路拡大・食育交流
12月 8日（土）	「あびこん漬物教室」	あびこん	販路拡大・食育交流
12月 1日（土） 2日（日）	市民活動フェア in あびこ 2012	あびこん他	広報部会
1月19日（土）	「ちびっこ餅つき大会」	あびこん	地産地消協議会
2月9日（土）	「あびこん味噌づくり教室」	あびこん	販路拡大・食育交流
2月16日（土） 17日（日）	第37回消費生活展 全体テーマ 「子供たちに明るい未来を」	我孫子市民プラザ	広報部会

7. 新役員・コーディネータの紹介

新任の役員の方を紹介します。

白澤幸雄総務会長

①プロフィール

5月19日の第9回総会にて、総務部会長に選任されました白澤幸雄です。協議会活動の経験は浅いですが、サラリーマン生活45年で培った経験を活かし、努力を致しますので宜しくお願い致します。

退職を機に残りの人生を有意義に生きたく、援農ボランティア活動に7期生として参加し、農家の安定供給の厳しさを実感し、農家とボランティア仲間との素晴らしい出会いに感謝して居ります。

- ・私の心情は「感心」「感動」「感動」
- ・趣味は、オーディオ・ウォーキング・園芸・旅行・読書です。



②抱負

地産地消推進協議会の主たる事業は、援農ボランティア活動を筆頭に6つの事業がありますが、大半の会員の方が援農ボランティア活動のみ参加されているのが現状です。

入会された会員の皆様が一般会員と行政とが一体となり、消費者の目線で安全・安心・新鮮な農産物をPR出来るような「絆づくり」を目指していきたいとおもっております。

会員皆様の力をお借りして、進めてまいりたいと思いますので、宜しくお願い致します。

あびこん学校給食新コーディネータを紹介します。

山口文俊コーディネータ

①プロフィール

今年4月より学校給食支援部会の一員として活動することになりました山口です。我孫子には、16年前から暮らすようになりましたが、サラリーマンの最後には10年間単身赴任生活をしており、定年後、ようやく我孫子に落ち着いた気持ちでした。

このたび、地元の皆様との接点が持てましたこと、とてもうれしく思っております。

趣味：ウォーキングと歴史書を読むこと。

手賀沼湖畔を週2、3日ほど歩きながら、手賀沼の四季を満喫しておりました。最近はかなりさぼっておりますが。

最近ハマっていますのは、室町時代～江戸時代の日本の絵画です。

等伯、光琳、若冲、北斎、広重等々、たまりません。



②抱負

現在、農家のみなさんと学校との調整役をやっております。

行政のみなさん、農家のみなさん、学校給食関係のみなさんの温かいご協力のもと2カ月が過ぎましたが、まだまだ教えていただくことばかりです。

地元産野菜が、より多くの小中学校のみなさんに食べていただけるようその一助になればと思っております。その為には、農家のみなさんにも学校給食関係のみなさんにも、もっともっと見える情報の提供が必要と考えております。

今後とも、皆様のご指導、ご協力を宜しくお願い致します。

8. 部会紹介

広報部会の実行委員を紹介します。

広報部会は部会長の天谷さんと、田辺さん・川田さんは以前より活動されておりました、今年度より植木さん、若王子さんが加わり総勢5人になります。

・植木さんより「ボランティアを通じて“春夏秋冬”楽しく作業できる喜びに感謝です。微力ながら、広報部会の一員としてお役に立ちたいと思います。」

・川田さんより「会報・協議会HPを通じて、我孫子の地産地消の輪をもっと広げていきたいです。どうぞよろしくお願ひします。」

・若王子さんより「あびこ地産地消は土と植物と人があり援農を又広報部員としてボランティアを皆様共に楽しみたいと思います。」

・田辺さんより「大好きな我孫子をもっと知りたい！その素晴らしさをもっと多くの方に伝えたい！そんな思いで活動させていただいています。」



左より若王子さん、田辺さん、川田さん、植木さん

販路拡大・食育交流部会の活動を紹介します。

「じゃが芋アラカルト」（料理教室）

日時：平成24年6月22日 10時～13時

場所：我孫子南近隣センター

内容

- ・「鶏肉とじゃが芋の甘酢あん」「じゃが芋のニソワーズ」など
- ・当日の受講生は女性8名男性2名計10名でした、古川さん、

玉造さん、八澤さんのご指導のもと、料理完成後は食事しながらの交流会で締めくくりました。



9. 編集後記

台風4号の暴風雨で被害を受けた農家の方々にお見舞い申し上げます。また家庭菜園を行っている方も翌日の強風で復旧が遅くなったのではないのでしょうか。

第9回定期総会も議案など滞りなく終了しました。I部で行われた「学校給食講演会とパネルディスカッション」では活発な意見の交換がなされ今後の学校給食に対する示唆もあったのではないのでしょうか。

協議会の拡大に伴い、各部会の活動も多様となっており、多くの検討課題を抱える状況にあります。特に販路拡大・食育交流部会は多様で広範囲の活動をしておりますので、会員の方々の積極的なご参加をお願いいたします。